

嶋崎大使によるザアタリ・シリア難民キャンプの視察

2022年3月14日、嶋崎駐ヨルダン大使は、マフラク県にあるザアタリ・シリア難民キャンプを訪問し、日本政府が「シリア及び周辺国における人道危機に対する緊急無償資金協力」により300万ドルを支援する、WFPによる脆弱なシリア難民への食料提供活動を視察しました。

本支援により、約8万人のシリア難民が、6か月の期間、毎月キャンプ内のスーパーやパン屋で食料品を購入できる電子バウチャーを受け取ります。

同行したコリエラ・メンデスWFPヨルダン事務所代表からは、日本の継続的な支援に対する謝意が述べられ、難民家族に食料を提供し続けるために十分な資源を調達することが難しい中、日本を始めとする国際社会の協力がこれまで以上に重要である旨が強調されました。



キャンプ内スーパーマーケット視察

